



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第103号 2017年6月14日 発行



会長就任のごあいさつ

公益社団法人石川県作業療法士会 会長 東川 哲朗

先に開催された当会第4回総会で選挙承認の後、理事会にて推薦頂き会長を務めることになった。

これまで会長を歴任されて来られた皆様には、数々の教えを頂きこれまで作業療法士として、また県士会役員として成長してきたと感じている。感謝しつつ、さらにこれからの時代に即した県士会に発展するべく邁進していきたいと決意している。

さて、県士会の役割は大きく舵を切らなくてはいけない時期にきている。これまでの学術団体としての役目に加え職能団体としての役割が益々重要になってきている。ご存じの通り、2025年問題は、すでに未来の問題ではなく目の前の課題である。地域包括ケアが色々な場面でキーワードとなっているが、準備は大丈夫だろうか。どうも他人事の様に見える会員が多いような気がしている。急性期病院であろうが、分野がどの様な分野であろうが、必ず関わりが必要になってくる。このケアシステムを念頭に置いた臨床をしなければ、社会に役立つ専門職として必要とされない時代になると考えている。

この様に、今、私たち作業療法士が求められている役割は、各個々人が勤務している職場で一生懸命対象者の方に作業療法を提供するのみでは不十分で、それに加えて、地域というフィールドで、あらゆる分野に適応できる働きが求められている。

日本作業療法士協会では、重点項目として地域包括システムへの対応、認知症への対応、自動車運転、発達障害児への関わりを挙げている。どの項目についてもキーワードは「自立支援」である。まさに作業療法の目的と合致した内容ではないだろうか。

県士会では協会の重点目標に応じた事業活動を鋭意進めていく予定でいる。そこには、必ず、マンパワーが必要である。その為には社会活動に役立つ人材の育成が急務である。県内には4つの作業療法士養成校が存在するが、優秀な人材確保と卒後教育は大きな課題である。今後養成校とも連携を図りながら養成課程の問題に取り組みつつ、卒後教育を充実させていく必要がある。この点にも注力していく所存である。

政府は「一億総活躍社会」の実現を目標に掲げている。県士会も同様である。他職種と比べ、会員数が少ない本会が、他職種と同じ役割を社会で果たそうとしたとき、会員総動員で取り組まなければ対応できない事は明らかである。

どうか、この作業療法が2025年以降も社会に役立つ職種として活躍できるよう、会員総活躍で挑んでいくことにご協力を頂けるよう御願いたい。

略歴

昭和63年国立療養所犀潟病院附属リハビリテーション学院卒業、金沢脳神経外科病院に就職。途中専門学校教員を経験。金沢経済大学経済学部卒業、金沢大学大学院医学系研究科博士前期課程修了。日本作業療法教育研究会・日本作業行動研究会・日本作業科学研究会会員。日本作業療法士協会認定作業療法士・臨床実習指導者研修修了・MTDLP実践者研修修了。AMPS認定評価者・A-one認定評価者・介護支援専門員取得。

医療功労者の県知事表彰を受賞して

金沢福祉用具情報プラザ 安田 秀一

平成29年5月20日

総会・表彰式の間において、標記の授賞式を挙げていただいた。そして、永年会員表彰者、優秀論文賞受賞者も合わせて、代表して謝辞を述べさせていただいた。以下に謝辞文章を記す。本誌規程では、「である調」が原則であり、読み上げた文章を「である調」に変更して記す。

謝辞

本日、栄えある表彰を受けた一同を代表して、一言謝辞を述べさせていただく。

私どもに、このような表彰式を挙げていただいたことは、まことに身にあまる光栄である。

平成三年に作業療法士の資格を取得し、リハビリテーション業務に従事しながら、石川県作業療法士会や石川県介護支援専門員協会の会員としての活動、微力ながら、この間、理事も務めさせていただいた。

作業療法士としての仕事を始めたころから、患者様・ご利用者様の治療・生活の役に立ててもらうための、セラピストでありながら、先輩方と自分の力量の差を感じ、悔しい思いを勉強することに置き換えながら、精進してきた。作業療法士は毎日・一生が勉強であり研究であり、それを怠ると、たちどころに社会から必要とされない人材になってしまうと感じている。

経験を積んでいく中で、福祉用具による支援という専門分野に巡り合い、現在は、福祉用具による支援の実践と、他の職種の方や作業療法士の後輩たちへの指導を行う立場で仕事をしている。福祉用具による支援を通して、石川という地域で暮らす皆様の健康と生活の質の向上に貢献できると信じている。

今後、後輩たちに望むことは、作業療法という多岐に渡る専門分野の中から、何か一つでよいから、本気で打ち込めることを見つけ、邁進してほしいということである。

私自身もなお一層の努力をしていく覚悟である。



県知事表彰者

安田秀一(金沢市福祉用具情報プラザ)

小池隆行(城北病院)

優秀論文表彰

米田貢(金沢大学)

「Theobromine up-regulates cerebral brain-derived neurotrophic factor and facilitates motor learning in mice」
(掲載誌は「The Journal of Nutritional Biochemistry」より)

永年会員表彰を受賞された皆様

今回、受賞された方は16名の会員でした

犬丸 敏康 金城大学 医療健康学部	寺尾 朋美 野々市市地域包括支援センター
岡崎 瑞紀 片山津温泉丘の上病院	永井亜希子 恵寿総合病院
岡崎 律江 公立能登総合病院	永原 知佳 城北クリニック
下内 明美 あんじん	西川 理恵 桜ヶ丘病院
白山真由子 恵寿総合病院	浜田 有紀 自宅
杉本 志保 まだら園	松本 由江 自宅
津田 義正 千木町ケアセンター	森田 郁子 さくら園
常山 陽子 田中町温泉ケアセンター	家蔵 美香 七尾松原病院



1列目左から永年会員表彰者の永原さん、濱田さん、西川さん、寺尾さん、2列目左から犬丸さん、岡崎さん、家蔵さん、永井さん

新役員と組織図

今回、2年に1回の役員改選において新体制となりました。担当理事、委員長もご覧ください。

会長 副会長	東川 哲朗 寺田 佳世	岡田 千砂
-----------	----------------	-------

監事	後出 雅敏	進藤 浩美
----	-------	-------

	担当理事	
事務局長	麦井 直樹	
財務部	安本 大樹	高多真裕美
事業部	小池 隆行	米田 貢
企画部	小池 隆行	白山 武志 桂 靖典
広報部	明福真理子	米田 貢 白山 武志
健康福祉部	寺尾 朋美	
社会福祉部	渡邊 貴之	
在宅支援部 施設事業	明福真理子	
在宅支援部 訪問事業	村田 明代	中森 清孝
発達障害支援部	安本 大樹	寺田 佳世
精神医療部	岡田 千砂	大西真澄美
病院医療部	川上 直子	渡邊 貴之
教育部	寺田 佳世	桂 靖典

	担当理事		委員長・支部長
学術部	河野 光伸	麦井 直樹	
生活行為向上マネジメント 推進委員会	大西真澄美	中森 清孝	福井 朱美
金沢東支部	麦井 直樹	桂 靖典	堀江 翔
金沢西支部	高多真裕美	渡邊 貴之	苗山 卓弘
加賀支部	村田 明代	明福真理子 中森 清孝	西村 幸盛
能登支部	川上 直子		永井亜希子
表彰委員会	三役	進藤 浩美	
選挙管理委員会	麦井 直樹		小浦 綾乃
認知症対応委員会	岡田 千砂	大西真澄美	
情報通信委員会	東川 哲朗	小池 隆行	
地域包括ケアシステム 対応委員会	村田 明代	中森 清孝	
自動車運転の 作業療法検討委員会	東川 哲朗	寺田 佳世	高間 達也
災害対策委員会	寺田 佳世		東 ひとみ

新理事紹介

金沢大学・医薬保健研究域・保健学系 **米田 貢**



石川県作業療法士会の理事としては新人ですが、これまでの臨床、教育、研究、社会貢献活動などの経験を生かして、会員の皆様の研さん、県民の皆様の医療、保健および福祉の発展に寄与できるよう、尽力させていただきます。まずは作業療法士となった1年目の志を思い起こし、担当する県士会事業をより良いものにできるように取り組みます。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

金沢西病院 **白山 武志**



今年度より理事を務めさせていただきます。初めての経験ですので、皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、石川県作業療法士会の発展のため、精一杯努力してまいります。まだまだ若輩ものですが、今後とも、より一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

加賀のぞみ園 **中森 清孝**



地域医療構想により在宅医療の推進が示された今、訪問作業療法での経験を活かすことができたと考えております。特に、医療と介護の連携、地域リハ活動支援事業での作業療法士の役割、在宅生活の継続性や在宅生活の限界点を支える作業療法を、皆さまと共に考え合い(愛)、患者様や要介護者様、ご家族、そしてサービス関連スタッフ様に求められる作業療法士が増え、在宅における作業療法の発展に貢献できるよう励んで参ります。

木島病院 **桂 靖典**



今回、皆様に承認して頂き、今年度より新理事の任を頂きました。昨年度は、事業部始め3つの部に在籍し第16回東海北陸作業療法学会や研修会の運営、またOTKST (OT Kanazawa Support Team)のメンバーとして地域への出前講座など様々な経験をさせて頂きました。この経験を活かし、地域の方々や中高生への啓発、作業療法士に対して制度や福祉用具等の紹介など、当会や作業療法の発展に尽力したいと思います。

第26回石川県作業療法学会 6/25(日)開催 金城大学でお待ちしています!

第26回石川県作業療法学会 学会長 **河野 光伸** (金城大学)

今回、金城大学で初めて石川県作業療法学会を開催させていただくことになった。金城大学での県学会開催をご推挙くださった、石川県作業療法士会理事会のみなさまに、この場をお借りして深謝申し上げたい。

今回の学会テーマは、「未来への生きがいを生む作業療法」とした。日々の治療を通して患者さんが「生きがい」を感じて下さるようになったら、作業療法士にとってこの上ない喜びであると思う。そして、このような患者さんが増えるよう、日々の努力を積み重ねることに「生きがい」を感じている作業療法士が増えることを期待したい。今回の学会テーマには、このような思いが込められていることを、この場で述べさせていただく。

ところで、良き医療従事者の条件とはどんなものだろうか。患者さんに共感的な態度で接することができる、他の医療スタッフと良好なコミュニケーションを取り協調して業務ができる、倫理意識を高く持ち患者さんや社会に対して責任ある行動がとれる、なども重要であるが、弛まぬ探究心を持ち生涯学び続ける力を持つことも重要な条件であろう。自己研鑽は業務ではなく、医療従事者の義務であると思っただき、学会へ足を運んでいただけることを願う。

冒頭で申し上げたが、今回は金城大学で初めて請け負う県学会である。近隣にコンビニなどが少ないため、昼食は本学の学食をご堪能いただければ幸いである。なお、お車でのご参加をお考えの会員のみなさま、駐車場は十分スペースがあるのでご安心いただきたいのと、申し込みされていない方でも当日参加できることもお伝えする。では、当日、金城大学でお待ち申し上げます。



新入会員 紹介 (H29.5.23 現在・敬称略、順不同)

金沢脳神経外科病院

三野 彩愛
北村 梨紗
田中 聡士
辻 綾乃
広瀬 加奈

恵寿総合病院

山下 香奈
久保 彩奈
喜多 愛美
湊 瑛貴

城北病院

疋田 勇次
関谷 杏里
作田 夏希
伊藤 晴香
坂東橋佳奈
谷田みすず

金沢こども医療福祉センター

大槻 茉由

十全病院

川上依里子

加賀温泉ケアセンター

寅若 奏

岡部病院

大村 直樹

公立つるぎ病院

中村 友香
中野 裕貴

金沢西病院

山梨 珠美
藤田さくら

町立 宝達志水病院

上木 瑞季

青和病院

谷 久瑠美

金沢赤十字病院

片山 暖菜

自宅

白田 明莉

公立能登総合病院

藪谷 美紀

珠洲市総合病院

鷺 祥悟

浅ノ川総合病院

林 知佳

各支部支援活動状況

金沢東支部

金沢大学付属病院 堀江 翔

平成29年度の金沢東支部の活動としては、事例検討会3回(6月9日、11月17日、2月3日 研修会含む)、MTDLP事例検討会3回(9月20日、11月15日、1月10日)、健康づくりフェア(秋予定)への参加を予定している。事例検討会への参加人数が減少傾向にあるため、学会練習や難渋症例の相談など、新人・若手のみでなく、経験者も含めて広く会員に声掛けを行い、支部での交流を図っていきたい。

金沢西支部

公立つるぎ病院 苗山 卓弘

今年度金沢西支部では事例検討会を6月28日・11月12日・1月27日の3回、MTDLP事例検討会を7月19日・11月12日・2月28日の3回、研修会を1月27日に開催する。作業療法の普及や交流に関する事業では6月3日の「金沢百万石まつりおどり流し」に新会員の方々を始め多数の参加を頂き交流と結束を高める事ができた。また9月3日に金沢市松ヶ枝福祉館で開催される「福祉のつどい」に参加するので各施設の方々に運営協力をお願いしたい。

能登支部

和光苑 福井 朱美

今年度は、事例検討会3回(金曜18:30から7月21日 公立羽咋病院、10月27日 佐原病院、2月4日 能登小牧台)、MTDLP事例検討会3回(8月25日 穴水総合病院、10月10日 国立七尾病院、3月2日 青山採光苑)、研修会1回(2月3日 能登小牧台)を予定している。能登の各地での開催となっているので、近場の方はもちろん他支部の方も、参加を期待する。詳細は、ホームページと公文書を参照して頂きたい。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 和知晋太郎

5月10日(水) 18時30分より芦城クリニックにて行われた症例検討会では、35名(内、認定OT4名)の参加者のもと、県学会へのプレ発表分を含め4症例の報告があった。共通する課題として在宅支援の在り方が挙げられ、さらに介護予防・日常生活支援総合事業に関しては、各自治体におけるセラピストの参画状況について知る機会を得た。次回は10月22日(日)に事例検討と研修会を予定しており、積極的な参加を期待する。

地域医療機能推進機構 金沢病院

杉中 菜子

芳珠記念病院

亀井 勇

山田 真美

田家澤菜実

吉田友稀乃

キッズルーム ロータス

佐藤 綾香

木島病院

小鍛治里菜

堀田 成美

新人歓迎会



新会員の皆さんに三役による「新人研修」と職能団体のオリエンテーションが行なわれた。引き続き、新会員歓迎会・表彰受賞者祝賀会が催され、新会員44名、表彰受賞者8名を含む総勢150名が参加した。(写真：東川新会長による乾杯)

～県士会の今後のビジョンと会費値上げについて～

前会長 **進藤 浩美** (社会医療法人財団 董仙会)
 財務担当理事 **安本 大樹** (金沢こども医療福祉センター)

公益社団法人の定款では、理事会に業務執行の権限があり、平成30年からの会費値上げ、8,000円という会費額についてもそこで承認された。しかし、5月20日の当会の第4回総会においても、会員の皆様からも賛同を得たいと言う思いで議題に上げた。十分な審議の上ご承認いただき、感謝申し上げます。

当会は、将来の会員1,000人体制に堪えうるように、事務所を借り、パート職員を採用するべく準備を重ね、全国的に見ても低い価格帯の5,000円で会費を値上げすることなく運営してきた。残念ながら、3期連続赤字 80万～90万という結果であった。事務所と職員確保では、年間150万は必要である。毎日の郵送物の処理、発送物、財務処理など、作業療法室の片隅を借りて実施することは、困難であることを会員の皆様に理解していただいたことにも感謝したい。

ここで、公益社団法人のしくみについて述べる。平成26年に公益社団法人に移行した。公益社団法人は、公益目的事業の比率が70%以上でなければならない。当法人においては何の問題もない。多くの研修会を実施すればするほど、この公益目的事業の支出比率は、高くなるが、その収入財源の主たるものは、会費及び研修会等の参加費として賄われている。

その収入源の一つである会費収入が民法により、公益法人の全収入の50%以上でなければならないと定められている。現在、会費収入は55%であるが、今後より高い安定的な会費収入比率を確保しながら、公益目的事業の拡大を図るのには、困難な状況にあると言える。したがって、赤字を解消し健全な財政基盤の確保のためには、研修会費の値上げという選択肢はなく、会費値上げしかないのである。当然の事ながら、会費収入の有効かつ効率的な活用のために、支出の抑制にも積極的に取り組んでいる。

公益社団法人石川県作業療法士会の収入

<p>公益目的事業収入 作業療法の学術的発展 作業療法の技能向上 作業療法の有効活用の促進</p>	<p>民法上、会費収入50% 以上必要と規定 当県士会は55%</p>
---	--

今後とも永続的に公益法人として公益目的事業を実施し、健全で継続的な財政を確保するためにも、会費を平成30年より8,000円といたしましたので、ご理解、ご協力の程、あらためてお願い申し上げます次第である。

介護予防・市町地域支援事業に対応する作業療法士の人材育成

副会長 寺田 佳世(県リハビリテーションセンター)

介護予防の推進にあたっては、高齢者の心身機能を高めることだけを目指すのではなく、高齢者が地域の中で生きがいや役割を持って生活できるような居場所と出番づくりなど、高齢者を取り巻く環境へのはたらきかけも含めたバランスの取れた取組みが重要であり、このためには、リハビリテーション専門職を積極的に活用し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指すことが必要であるといわれている。

このため、我々作業療法士は、自分の身近な地域の市町や地域包括支援センターの事業を理解し、他職種との連携を積極的にはかり、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけ、高齢者の自立支援に資する取組みを推進する責務がある。

そのためには、各作業療法士が地域包括ケアのための作業療法士の役割を十分理解し、市町事業に対応できるスキルを身につけることが必要なため人材育成研修が急務であると考えている。H29年度は県リハビリテーションセンターと県PT・OT・ST連絡会の協働研修および当士会での研修を企画しているので、多くの参加をお願いしたい。

①地域包括ケアに対応するリハビリテーションの構築 事業報告会

日時：H29年8月5日(土) 13:30～17:00

H29年8月6日(日) 9:30～17:00

場所：県地場産業振興センター

内容：I 特別講演

「在宅生活のニーズをとらえた多職種連携支援の必要性

～リハビリテーション専門職への期待～

講師： 独立行政法人 国立病院機構医王病院 院長 駒井 清暢 氏

II リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業報告会(障害分野)

・金沢市の取組み ・内灘町の取組み

III リハビリテーション専門職活用支援事業(高齢分野)

講演 地域ケア個別会議への関わり方

講師：池端病院 紅野 勉 氏(OT)

兵庫県但馬県民局 但馬長寿の郷 地域ケア課 小森 昌彦 氏(PT)

演習 地域ケア個別会議の実践

PT・OT・STの専門性を活かすための地域ケア個別会議の演習

②地域包括ケアに対応するリハビリテーションの構築 シンポジウム 日時調整中

③介護予防・日常生活総合事業を知ろう 担当：健康福祉部

日時：開催地区日時は県作業療法士会ホームページで確認すること

第1回目：金沢・野々市編 H29年6月22日(木) 18:30～19:30

内容：各地域の介護予防・日常生活支援総合事業について紹介と情報交換

平成28年度 公益社団法人石川県作業療法士会 ◆◆◆第3回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年3月8日(水) 19:00～20:00
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、寺尾、小池、渡邊、河野、井上、高多、川上(欠席理事：東川、岡田、西村)
出席監事：後出博敏、中川等史
4. 議事 第1号議案 各担当理事より、平成29年度事業計画について説明。承認
第2号議案 安本財務担当理事より及び平成29年度予算について説明。承認
第3号議案 就業規則導入について進藤会長より説明。承認
第4号議案 特設委員会改定について東川副会長兼事務局局長より説明があり、運転と作業療法に関する委員会、災害対策委員会、介護予防総合支援事業委員会、認知症作業療法推進委員会の4つの委員会を設置。承認
後出監事より、監査報告について説明。進藤会長より、監事意見書の指摘事項について説明。

◆◆◆第6回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年3月8日(水) 20:00～21:00
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、寺尾、小池、渡邊、河野、井上、高多、川上(欠席理事：東川、岡田、西村)
4. 議事・2年以上の正会員会費未納者2名の退会を承認。
・総合支援事業について報告(進藤会長)。

平成29年度 公益社団法人石川県作業療法士会 ◆◆◆第1回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年4月26日(水) 19:00～20:30
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、岡田、小池、渡邊、河野、寺尾、高多、川上(欠席理事：西村、井上)
出席監事：後出博敏、中川等史
4. 議事 第1・2号議案 各担当理事より平成28年度事業報告、及び安本財務担当理事より平成28年度決算について説明。承認
第3号議案 後出博敏監事・中川等史監事より、監査報告について説明。
第4号議案 その他
①進藤会長より正会員会費の値上げについて提案及び値上げ理由の説明。承認
②安本財務担当理事より値上げ後の会費額の提示と説明。採決により値上げ額を8,000円とすることに決定。承認

◆◆◆第1回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年4月26日(水) 19:00～20:30
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、岡田、小池、渡邊、河野、寺尾、高多、川上(欠席理事：西村、井上)
4. 議事・新入会17名を承認。
・平成29年度県学会について進捗状況を報告(麦井理事)。

◆◆◆第4回総会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年5月20日(土) 16:00～17:00
2. 場所：KKRホテル金沢
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、寺尾、西谷、岡田、小池、渡邊、河野、西村、井上、高多、川上(欠席理事：村田)
- 出席監事：後出博敏、中川等史
4. 議事 第1・2号議案 平成28年度事業報告・平成28年度決算について報告。西川氏(金沢市役所)より補正予算の承認方法について質問、進藤会長が回答。承認
第3・4号議案 平成29年度事業計画・平成29年度予算について報告。出雲氏(自宅)より研修内容について意見。承認
第5号議案 選挙管理委員長より選挙報告。役員全員無投票当選。承認
第6号議案 進藤会長より、平成30年度から正会員会費を現行の5,000円から8,000円へ値上げすることについて報告。承認

◆◆◆第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年5月20日(土) 17:00～17:30
2. 場所：KKRホテル金沢
3. 出席理事：東川、寺田、岡田、安本、麦井、大西、明福、寺尾、小池、渡邊、河野、高多、川上、桂、白山、米田(欠席理事：村田)
出席監事：後出雅敏、進藤浩美
4. 議事 第1号議案 会長・副会長を理事会決議によって選定。承認
第2号議案 東川会長より、平成29年度各部・支部・委員会の担当理事及び方針を発表。

第26回石川県作業療法学会

6月25日(日)

会場：金城大学

当日参加も可能です。皆さまのご参加をお待ちしております。

金沢西支部第1回事例検討会

6月28日(水) 19時～

会場：済生会金沢病院1階作業療法室

MTDLP金沢西支部第1回事例検討会

7月19日(水) 19時～

会場：未定

能登支部第1回事例検討会

7月21日(金) 18:30～

会場：公立羽咋病院2階講義室

風船バレーボール審判講習会

8月6日(日) 10時～、8月19日(土) 13時半～

会場：城北クリニック

いずれか一方に必ずご参加下さい。

第31回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会

10月15日(日) 9時半受付開始

会場：いしかわ総合スポーツセンター



KINJO UNIVERSITY

社会福祉学部
社会福祉学科
社会福祉専攻/こども専攻

医療健康学部
理学療法学科
作業療法学科

看護学部
看護学科

大学院
リハビリテーション学研究科
リハビリテーション学専攻(修士課程)

金城大学大学院
リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻(修士課程)

- ◆次世代リーダー養成のための実践力を高める教育体制
- ◆就業しながら学べる昼夜開講制・長期履修制度
- ◆授業料や奨学金制度など経済的負担にも配慮

〒924-8511 石川県白山市登間町1200番地
TEL.076-276-1400 (代表) FAX.076-275-4316
http://www.kinjo.ac.jp/ku/



在宅ならではの深い関わりが持てる!!
「退院後の人生を支えたい! そんな想いで介護の業界に入りました。お客様とじっくり関われる今の環境にやりがいを感じています。」

デイサービス 太閤のリゾート白山
管理者(作業療法士) 中富 博久

↓こちらの事業所で募集中です↓

金沢市、野々市市、白山市の
◆デイサービス ◆訪問リハビリ(有料老人ホーム内勤務)

正社員 月給…270,000円～、時間…8:30～17:30または 9:00～18:00
休日…週休2日(シフト制)、賞与年2回、社会保険完備、退職金あり

パート 時給…2,000円～、時間…1日2時間以上
勤務…1ヶ月の勤務回数応相談、労災あり ※時間に応じて雇用保険・社会保険加入

共通 昇給年1回、交通費あり、各種資格手当、日/祝出勤手当、OJT制度

株式会社 サンウェルズ SUNWELS GROUP
金沢市、白山市を中心に16ヶ所の介護施設を運営しています。
<お問合せ> 株式会社サンウェルズ本社 人事部：東(ひがし)
☎076-272-8982

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生学生会んやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会

医療法人社団輪生会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢

会員動向

石川県作業療法士会会員数 780名(平成29年5月現在)
認定作業療法士 29名(平成29年5月現在)

編集後記

先日行われた総会で、進藤前会長が会長としての最後のあいさつと切り出しお話をされ聞き入った。これまでの当会の法人化、そして公益社団法人に移行するためのご尽力は誰もがご承知だと思うが改めて敬意を表すところである。そのお話の中、感じたところは私たち作業療法士ひとりひとりの意識を変えていかなければこれから世の中で生き残っていけないという、前会長からの強いメッセージだったと感じた。これから東川新会長のもと、より意義のある広報活動が行えるよう広報委員一同努めて参りたいと思ったところである。

進藤前会長、長い間お疲れ様でした。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、酒野直樹、入江啓輔、藤田隆司、杉浦有子、寺井利夫、川口朋子、谷内香織、橋本実、小川正人、買手登美子、平木咲代子、福井清美、前田勝也、中寺智也、山本真一郎、山崎佳子、川口日和、伊関浩克、山田ともみ、田中明、犬丸敏康

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社